

救急医療を守るために

救急車の適正利用

にご協力ください

緊急性の高いかたをできるだけ早く搬送するため、
救急車の適切な利用が必要です。



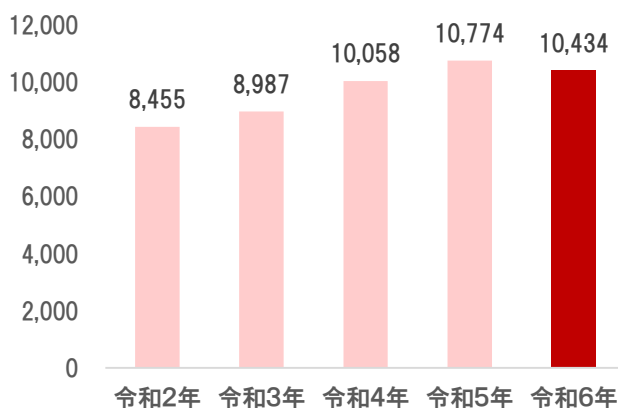
救急車は、必要な時に適正に利用しましょう



軽症者が救急車を呼ぶことで
重症患者からの要請に対応が遅れ、
救える命が救えなくなる可能性があります。

● 宇部・小野田保健医療圏の現状

(救急搬送人数)



※軽症者は、
搬送人数の2割を超えています。



救急医療電話相談

「救急車を呼ぶ? 病院へ行く?」迷ったときの相談窓口ダイヤルです。看護師等が病気やケガの状況を把握し、緊急性や応急手当の方法、医療機関などについてアドバイスします。

おとな

救急医療電話相談 (#7119)

受付時間: 24時間対応

※概ね15歳以上

携帯電話から
お電話いただく際は、
「083-921-7119」
にお電話ください。



山口県救急医療
電話相談 (#7119)
- 山口県ホームページ

こども

救急医療電話相談 (#8000)

受付時間: 19時~8時

携帯電話から
お電話いただく際は、
「083-921-2755」
にお電話ください。



山口県小児救急医療
電話相談 (#8000)
- 山口県ホームページ

出所: 山口県救急医療電話相談 (#7119)、山口県小児救急医療電話相談 (#8000) - 山口県ホームページ (yamaguchi.lg.jp)

診療時間外などの開いている医療機関が 少なくなる前に受診をしましょう

体調がいつもと違うかも、明日は病院が休診日・・・
そんな時は

症状が重くなる前に、**早めの受診を！**

できるだけ日中の時間帯に受診を



安易に救急医療機関を利用すると、
緊急性の高い人が受診出来なくなる可能性があります。
日中、早めの受診を心がけましょう。

時間外受診は
医療費が高くなります



休日や診療時間外に受診すると、
加算がついて医療費が高くなります。
**また、応急処置の対応となり、
改めて外来受診が必要な場合があります。**

「かかりつけ医」を持ちましょう



かかりつけ医がいれば、ちょっとした体
調の変化にも気づきやすいため、
**病気の予防や早期発見・早期治療が
可能になります。**
気になることは早めに相談しましょう。



「かかりつけ医」ってなに？

ウェブサイト
厚生労働省 上手な医療のかかり方.jp

かかりつけ医をもつメリット、かかりつけ医をもつと安心
できること、かかりつけ医の機能についてお伝えします。